

筆記試験記入済み解答用紙の誤廃棄（溶解）について

独立行政法人国際観光振興機構が観光庁長官に代わって実施する全国通訳案内士試験において、平成30年度筆記試験の記入済み解答用紙15科目計28,988枚を、本試験事務の受託事業者が誤って溶解してしまったことが判明しました。

溶解した解答用紙は、独立行政法人国際観光振興機構文書管理規程並びに全国通訳案内士試験事務規程（以下「弊機構関係規程」という。）において、保存期間を1年（実施年度の翌年度末）と定めているものでありますが、今回の誤廃棄により、原本の写しのない一部外国語試験（仏、西、独、伊、葡、露、泰の7科目）の解答用紙計1,164枚については、弊機構関係規程で定めた保存期間を順守することができなくなりましたので、その事実を公表いたします。

なお、平成30年度筆記試験に係る採点および合否判定は既に完了しており、今回の誤廃棄が試験結果に影響を及ぼすものではありません。

当機構では、現在、再発防止に向けた実施体制を見直し、その強化に取り組んでいるところですが、引き続き、適正な文書管理が図られるよう努めて参ります。

平成31年4月12日

独立行政法人国際観光振興機構

問い合わせ先：

地域連携部受入対策グループ

03-6691-3891